



## 小羊の命の書

黙示録 13:8 地に住む者で、ほふられた小羊のいのちの書に、世の初めからその名の書きしるされていない者はみな、彼を拜むようになる。  
これらの書物に書きしるされているところに従って、自分の行ないに応じてさばかれた。  
罰には重い、軽いがある。ヒットラーの裁きは重いと思われます。  
善良な市民は軽いと思ひます。

ルカ 12:47 主人の心を知りながら、その思いどおりに用意もせず、働きもしなかつたしもべは、ひどくむち打たれます。

ルカ 12:48 しかし、知らずにいたために、むち打たれるようなことをしたしもべは、打たれても、少して済みます。すべて、多く与えられた者は多く求められ、多く任された者は多く要求されます。

黙示録 20:13 海はその中にある死者を出し、死もハデスも、その中にある死者を出した。そして人々はおのおの自分の行ないに応じてさばかれた。

死もハデスも、1次的な苦しみの場所。  
第2の復活を経験して、火の池に投げ込まれる。

黙示録 20:15 いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。

「命の書に名のしるされていない人」＝「福音を信じなかつた人」

「火の池」＝「地獄」

### (1) 旧約時代の死

死は肉体と霊の分離霊はハデスとパラダイス＝「アブラハムの懐」にいる。

「地獄」＝「燃える火の池」

### (2) 新約時代の死

福音を信じている人は天国へ行く。千年王国での死・・罪人しか死なない。  
ユダヤ人はキリストの再臨の前に全部救われる。私にとっては、神様の裁きには差があると言われても何の慰めにもなりません。福音を語りたいたいのです。しかし使徒の働きを読むと、ペテロも自分の力で語っているではありません。聖霊に満たされて語っています。

エペソ 5:18 また、酒に酔ってはいけません。そこには放蕩があるからです。御霊に満たされなさい。  
御霊に満たされて語っています。私達も、御霊に満たされなければ福音を語ることはできません。  
御霊に満たされる方法について私たちは学びました。

(1) Iヨハネ 1:9 もし、私たちが自分の罪を言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。

星野富弘さんは絵のそばに、ご自分の気持ちを書いておられます。書き始めて、また自分の弱さや醜さを知らされたような気がした。やはり、本当の気持ちを書くことが出来ず、纏ってしまうことがあります。どんな冒険に立ちむかうよりも、自分をさらけ出すことの方が、ずっと勇気が必要なのではないかと思ひます。滝山教会に、自分を知る為のカウンセリングの勉強を18年も続けている方がいます。全ての問題は自分を知らないことだと言っていました。私のことを一番よく知っているのは家内です。家内から私の罪を指摘されると、ものすごく腹が立つのです。それは私が自分の罪を知らないからです。自分の罪を言い表すということは、聖霊に示されなければできないことです。

(2) エペソ 5:18 また、酒に酔ってはいけません。そこには放蕩があるからです。御霊に満たされなさい。

御霊に満たされるとは、ガソリンスタンドでガソリンを満タンにしてもらうことではありません。聖霊は神様ですから聖霊に支配されることです。聖霊様は強引に私たちを支配するようなことはなさいません。「聖霊様、私を支配してください。」と心から願うことです。

(3) 詩篇 37:5 あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。

私が滝山教会から招聘されたときに与えられたみ言葉です。私には愛がないので牧会はできない、主に信頼すれば主が成し遂げてくださると約束してくださっているのに、自分の足らなさばかりが頭をもたげてきて、なかなか信頼することが出来ませんでした。主に信頼すれば、主が支配してくださるのです。

(4) マタイ 16:25 いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者は、それを見いだすのです。

どこまで行っても自分が主の働きの邪魔をするのです。

(5) イザヤ書 55:8 「わたしの思いは、あなたがたの思いと異なり、わたしの道は、あなたがたの道と異なるからだ。…主の御告げ。…」

神様の考えと人間の考えは違うのだから、自分の考えと違っても神様の考えに従えばよいのですが、どうしても自分の考えが邪魔してしまうのです。赤ちゃんがお母さんに信頼するように私達も神様に信頼できたら、なんと幸せになることでしょう。